

日刊 磐城時報 石城郡石城町平野町十四 印刷所 石城郡平野町十四 電話 磐城時報社 印刷部 電話 磐城時報社 廣告部 電話 磐城時報社

平野で反対した 鑛區の地表調査

安田技師等一行來平 有害の程度を調査する

石城郡内郷村鑛區炭鑛では、鑛に平野町、仲町、長橋町、堂の前以南並に飯野村、谷川瀨附近の地下採掘を仙臺鑛山監督局に申請したのに對し、平野町、飯野村では夫々町、村會を開き公益に有害であるといふ理由で採掘に反對し、その旨仙臺鑛山監督局に通じたが、監督局では果して如何なる程度に有害であるかを調査する事となり監督官技師田安泰治氏三十日來平吉田農林技手、佐本農事試験場長等と共に採掘すべき鑛區の地表調査を遂げたが、該調査に伏見平町長伊藤飯野村長、櫻村平警察署長宮内警備隊等立會した。會を開き調査の事になった。

忠魂碑建立

高久村で 石城郡高久村在郷軍人分會では忠魂碑を建立する事となり一戸から二十五錢宛の寄附募集を開始した。

水道會計員會

平野町 水道擴張工事の會計員會は三日午前十時から平野役場に開いた。

慰問金募集

藝妓演藝會 慰問金募集 藝妓演藝會は近日中に慰問金募集の爲に藝妓演藝大會を開催する事になった。

慰問金品募集に

好問村民感激

小田吉治氏宅を根據とし 寄附募集を開始

小田吉治、野崎滿藏、諸橋久太、あるが、平野のみでなく好問、井上茂作、萩原義雄各氏發起的に在郷軍人慰問金品募集は地小田吉治氏宅を事務所として方民に多大の衝動を興え、小田吉治氏、諸橋久太郎兩氏の三百圓宛の寄附金品額々と集まりつ

慰問金發送

四倉町

婦酌と戀におち 理髮徒弟自殺

連れ出した自責の念から

石城郡小名濱町中島理髮店鈴二日女を連れ出し五日間同町大政務方徒弟崎崎村大字上湯長販網事務所側の留守番小屋に四倉教會主任小松崎現瑞氏は此谷字力石三之助二男増子實(二)は二十八日午後七時頃消毒し自由職業を申し出たが三名より募集し金拾貳圓六十錢を同町役場を経て送附した。

花澤龍舟氏 書道展に入選

平野町花澤龍舟氏は目下東京上野に開催中の第二回書道展覧會に出展し見事入賞した。

全財産五千圓を 有意義事業に投ず

小名濱の感心な老婆 在郷軍人にチョッキ寄附

小名濱町字本町管利職業紹介業までの道路をアスファルトに戸司ノ(五)は數年前夫に死んで貰ひ度いと陳情した。

男女漁夫 ガンヂ賭博

石城郡小名濱町竹田漁夫小野元三郎(三五)外男女五名は二十八日午後二時頃築港事務所側でガンヂ賭博を開帳中平野に捕はるし回収困難となり裏面に面白か

在郷軍人分會長 賭博罪で檢舉

關係者多數檢舉されん

小名濱町在郷軍人分會長立花秀城にして現金賭博を開帳して吉(三八)は賭博非現行人犯としたもので關係者多數幸甚的に檢

町田橋の 改修陳情

平野町方面から箕輪、永戸、澤渡川の町田橋は腐朽し欄干落ちる危険なので地元民は平土木監督所に至急改修するやう陳情した。

信組購合 休止状態

石城郡玉川村玉川信購組合は前組合長野崎喜代松氏の後を継ぎ昨年十二月渡邊大氏が就任今日に至つたが現在同組合は殆ど休止状態に陥りこのまゝでは事業繼續出来ない状態に立至れるも

役人もつらい 馬の搜索願

石城郡三坂村大字差益農熊谷助男方飼牝三歳は十八日早朝手綱を切つて逃走し行衛がわからぬといふので其筋の手で捜してもらひたいと二十日平野署へ國家多難のをりから役人もつらい職務ではある。

甲子樓 妓夫の賭博

平野町甲子樓甲子樓妓夫紺野日午後六時頃前記甲子樓方で現金賭博が花札賭博を開帳中平野署に一網打盡に檢舉された。

在郷軍人分會長 寄附者芳名

- 三十日正午まで受付の分
- | | |
|---------------|-----------|
| 金二圓 | 菅原徳之助 |
| 金一圓 | 瀬戸喜三郎 |
| 金八十錢 | 小野信三郎 |
| 金八十錢 | 八木沼賀登 |
| 金五十錢 | 高橋 壽雄 |
| 金五十錢 | 藤市商店従業員有志 |
| 金五十錢 | 平製氷株式會社 |
| 金五十錢 | 本社従業員一同 |
| 小計金三十八圓三十錢 | |
| 合計金三十九圓七十錢 | |
| 累計金六百九十六圓六十五錢 | |
| 慰問品二十個 | |

- | | |
|------|-------|
| 金五圓 | 武藤 忠雄 |
| 金五圓 | 佐竹 清幸 |
| 金五圓 | 熊田 茂 |
| 金五圓 | 渡邊 三郎 |
| 金三十錢 | 清水 淺江 |
| 金一圓 | 中川 淺 |
| 金一圓 | 松本喜太郎 |
| 金一圓 | 鈴木 一葉 |
| 金一圓 | 猪狩 芳江 |
| 金一圓 | 齋藤 勉 |
- ▽へなぶり 新島新平 今月も不足になつた家計簿へ 微笑が湧く新世帯かな。 川 柳 新島新平 同僚を抜いて昇給日のほり 就職の今日から桐の下駄になり。 口紅の癖がとれない京育ち。 カーテンを紅にして夕陽落ち

在滿軍人

慰問金品募集

皇國のため身を捧げ酷寒の滿洲荒野に在り暴虐極りなき敵軍の出没に寢食を忘れて苦闘を續けてゐる吾出征軍人の辛酸を聞く時吾等は心切かに犠牲的奮闘に滿腔の謝意を抱いてゐた。殊に在滿軍人は東北人が大部分を占め殊に福島縣人最も多き中で石城出身兵百七十余名の多る而も郷土の人々の出征軍人数に上つてゐるに對する厚意に於て極めて冷淡であつた事を遺憾としてゐるのであるが最近に至り各種團體を始め一般の人々が感謝の誠意を披瀝するに至り慰問金品が續々集まりつゝあるを知り無上の欣快事とする處である。吾等亦遂に黙し得ず皇國のため零下四十度の超酷寒の滿洲に於て邦家守護のため活躍してゐる出征軍人の辛苦を思ひ左の如く在滿軍人慰問金品の募集を開始した次第である。

吾等の意を諒し敢て御賛同あらん事を熱望して止まぬ。

募集方法

- 一、一口金五錢以上 (但し金品を問はず)
- 一、取扱所 平町字二丁目 電話三〇・六四〇番 常磐銀行平支店
- 平町字三丁目 電話四一四番 七十七銀行平支店
- 平町字紺屋町 電話四〇九番 磐城時報社

主催

- 小田 吉治 (電話三二四番)
- 野崎 滿藏 (電話二一六番)
- 井上 茂作 (電話六六六番)
- 諸橋 久太郎 (電話九番・九九番)
- 萩原 義雄 (電話二五九番)
- 磐城時報社

◎募集其他に關する費用は主催者に於て引受け寄附金品には一切手を觸れざる事
◎募集金品發送に際しては陸軍當局と折衝の上適當の方法を探る事

板硝子と鏡の御用は

「電話六八〇番へ」

どんな種類でも用意してあります
理髮器具・化粧品一式

芳香園理髮器具店

常磐線平驛前角
電話六八〇番

風味獨得な

魚清のなべ類

例年の通り始めました。

- 鳥なべ 御一人前 三十五錢
 - ちりなべ 三十五錢
 - よせなべ 三十五錢
 - ねぎなべ 三十五錢
 - かきなべ 三十五錢
 - はもなべ 三十五錢
 - あんこなべ 三十五錢
- 出前も迅速にいたします

魚清食堂

革靴自製部新設

注文靴。修繕靴
親切。丁寧。請合

- ◎高級ゴム長靴
- ◎五圓均一靴
- ◎各種靴類

マルトモビル内

菊地靴店

電話(呼)四三六

計免臣大藏大 井行共栄
磐城無盡
蓄財 味通 金 湯 簡

腸胃 内科 専門
腸十二指腸 腸胃病 胃性病
松村 腸胃病 胃性病 専門
院 醫科 腸胃病 胃性病 専門
(七〇一話電)

カクテール
イキオラデン352
レストラン サロン

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科
入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡
安齊外科醫院
電話四七五

學生靴 特賣
耐久無比 新製品
▲ボツクス革 短靴 五圓
▲同 編上靴 六圓
不安心なる機械靴より……
新形と耐久本形位の優秀材料たる
大塚自製靴を……
◎伸士靴 最新形 大安價
平町田町
大塚支店製靴部
靴の御用は大塚へ
電話七七番

外科 専門
花柳病科
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番